

平成 27 年大磯町議会

9 月定例会総括質疑（9 月 8 日）

質問議員	質 問 事 項
1 1 番 坂田 よう子議員 (40 分) 9:05～9:45	1. 平成 26 年度重点政策に対する実績と効果について 平成 26 年度予算は、健康につなげる福祉・スポーツ・食文化・教育に力点を置き、町民の心身の「健康」につながる事業展開を大きく図っていくとされた。また、そこから生まれる活力をもとに、地域経済の活性化に挑戦するべく、「観光」に力を注いでいくとされる町政運営の基本方針及び予算方針を掲げられた。平成 26 年度は、中崎町政一期目の集大成の予算として、その実現性を大いに注目したと捉える。 そこで、平成 26 年度重点政策に対する予算執行の実績と効果について、以下の点を問う。 (1) 福祉について 「おあしす 24 健康おおいぞ」では、県の事業とも連携し、予防に重点を置き、町民の健康や意識啓発をさらに高めていくとされた。また、高齢者の介護予防や子育て支援に対しても事業展開を図るとされた。その実績と効果はいかに。 (2) スポーツ（体力づくり）について ビーチスポーツイベントや子どものスポーツチャレンジ事業を実施し、スポーツを通じた健康づくりの普及に努めるとされたが、その実績と効果はいかに。 (3) 食文化について 「医食同源」の考えのもと、食を通じた健康づくりへの意識向上、健康寿命の延伸に努めるとされたが、その実績と効果はいかに。 (4) 教育について 子ども達が確かな学力を身につけ、心豊かで活力に満ちた大人に成長できるよう、充実した学習環境づくりへの取組みを進めるとされたが、その実績と効果はいかに。 (5) 観光について 「新たな観光の核づくり」や観光振興を進め、多くの方々が訪れ、町に賑わいと活気を呼び込み、地域経済の活性化を図っていくとされたが、その実績と効果はいかに。 2. 人口減少社会を見据えた定住促進政策について 平成 26 年度は、加速的に進む人口減少や少子高齢化といった大きな課題に対し、国の特定地域再生制度事業等を活用するなど、新たな取組みにも着手し始めた。交流人口の増加と定住人口の安定化を重点プロジェクトに掲げ、進めてきた総合計画においても、人口減少社会への対応は大磯町が果敢に取り組まなければならない大きな課題としている。交流人口の増加や定住人口の安定化の推進が求められる中、定住促進政策について、その経過実績と評価についての見解を問う。

2 1 2 番 鈴木 京子議員 (40 分) 9 : 45～10 : 25	1. 町は「財政難」「生き残り」をいろいろな機会をとらえ町民に伝えている。以下の項目について、総括を求める。 (1) 一般会計、特別会計においてどのように全体の予算編成を行ったのか、基準財政需要額、基準財政収入額、留保財源、臨時財政対策債、義務的経費、政策的経費等のキーワードを使い、説明を。上記のおよその額も示すこと。 (2) 政策的経費の性質別、目的別のおよその額は。 (3) 繰越金が当初の倍以上になった理由は。 (4) 財政健全化比率と町財政健全化計画の関係は。 (5) 前年度比で交付金も含めた国・県の補助率の変更、普通地方交付税が減額された理由、一般財源化等による影響は。 2. ごみ処理広域化について リサイクルセンター施設建設に異論はないが、建設費 20 億円の計上については納得できない。平成 26 年度は要求水準書に至る議論が行われたが、金額の是非についての議論が見えない。どのように決定したのか。
3 1 5 番 柴崎 茂議員 (40 分) 10 : 45～11 : 25	今日の日本を高度成長期の何でも右肩上がりの時代と比べると、まさにどこか異国に来てしまったかの感がある。 表向きは国の人口も 1 億 2,700 万人台でほとんど変わりはないものの、人口が減ることは誰に聞いても常識となった現在、平成 26 年度末で 1,053 兆円にもなった国の借金を考えると、まず変わらなければならないのは、地方自治体の財政構造である。 しかし、その一方で、平成 23 年の東日本大震災のような大災害への備えも必要である。 そこで問う。 中崎町長の考える「観光で大磯を日本一にする」、「危機管理に重きを置きながら、美化センターのピットも残さずに解体してしまう」、万が一の備えはあるのか。整合性をとれるのか。 すでに町の人口も減りはじめ、将来も減らないという見込みもないのに、町長就任からわずか 4 年の平成 26 年度末で 11 億円も町債残高を増やし、164 億円にしてしまい、日本国の後追いでのよいのか。 3 億、4 億、5 億と事業を行い、一方で役場来庁者用の駐輪場に屋根もなく、大磯町立幼稚園には芝生さえ整備せず、ましてや火葬料は年寄りが多くなるからと半減させる計画を議会に諮り、自分たち理事者や、選挙前には職員給与だけは増やす。そうしたやり方で、本当に町民目線で納税者の負託に応えていると思うか。

3 名 5 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。